

交通政策について（市営バスのダイヤ改正について）

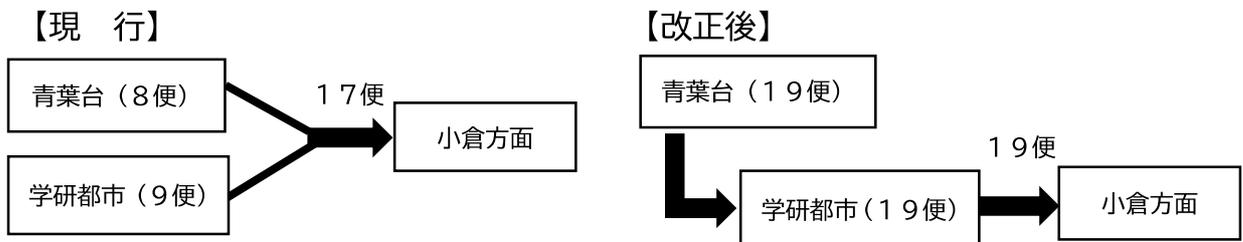
第4次北九州市営バス事業経営計画における「効率的な路線・運行形態の構築」に基づき、乗降データを最大限に活用し利用状況を踏まえダイヤ改正を実施するもの。

1 ダイヤ改正の概要

(1) 利用者数が多い路線・システムの維持強化

ア 学術研究都市・青葉台～小倉方面の増便

- ・現行の2系統を1系統に統合
- ・学術研究都市や青葉台から小倉方面への直通便を増便する。

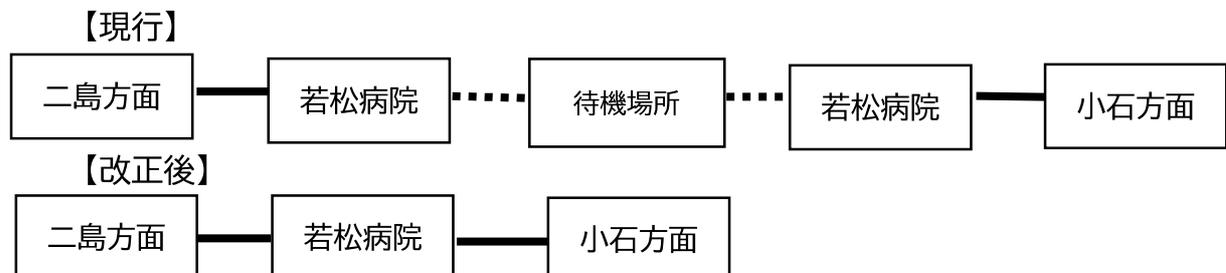


イ 折尾・黒崎～学術研究都市の路線の新設及び増便

- ・学術研究都市の住宅地の中を運行する路線を新設し、バス停を設置する。
- ・学術研究都市から折尾駅までの便を増便する（往復：96便→107便）
- ・学術研究都市から黒崎駅までの便を増便する（往復：7便→9便）

ウ 二島方面と小石方面の運行系統の統合

利便性の向上と運行の効率化のため「二島方面～産業医科大学若松病院」と「小石方面～産業医科大学若松病院」の運行系統を統合する。



- ・二島方面から小石方面が直通で利用できる。
- ・運行時間27分の改善（1時間19分→52分）

エ 小石（若松営業所）方面から小倉方面の増便

- ・若松営業所から小倉駅新幹線口間を増便する。
（往復：25便→35便）

(2) 利用者は少ないが、「生活の足」として必要な路線の効率化

ア 若松区北西部路線における運行路線及び便数の見直し

- ・若松区北西部路線の運行系統を3路線から2路線に見直し。
- ・利用者の声を踏まえ、目的地を高須方面まで延伸する。
- ・利用状況を踏まえ、便数を見直す。

<路線の見直し内容>

【現行】

(第一路線)岩屋～大鳥居線(21便)

(第二路線)二島～岩屋線(18便)

(第三路線)脇田・小石～渡場線(18便)

【見直し後】

二島～岩屋～高須線(15便)

(第一、第二路線を統合)

脇田・小石～迫田～若松病院線(10便)

イ お買い物バス（高塔山コース・石峰山コース）の運行日の見直し

- ・利用状況を踏まえ、土曜日の運行を取りやめ週5日の運行とする。
（月曜日～土曜日→月曜日～金曜日）

(3) 路線全体の便数

区分	改正前	改正後	増減	増減率
平日	667	621 (669)	△46 (2)	△6.9% (0.2%)
土曜	534	446 (487)	△88 (△47)	△16.4% (△8.8%)
休日	353	337 (371)	△16 (18)	△4.5% (5.0%)

- ・表中の下段()内は、統合・整理する前の系統で数えた場合の便数・増減率
- ・平日の実車走行距離はダイヤ改正前を維持しつつ、回送距離は大幅に減少(△4%)
- ・響灘地区循環バスの試験運行は、令和8年3月末で終了

2 ダイヤ改正日（予定）

令和8年3月28日（土）

北九州市営バス路線図

